

1 C&N部 ①取り組み概要

# 「ゼロトラストグリーンICT」で ゼロトラストを強化しESG向上に貢献

クラウド & ネットワークサービス部（以下、C&N部）は、移動と固定通信を融合したICTインフラサービスの基盤提供を担うクラウドやネットワークサービスの開発及び企画を行っている。本稿では、同部の概要や事業拡大の構想等について紹介する。

## 社会の動向を読み解き、 サービス開発を推進

C&N部は、5つの部門から成り（図1）、パートナーを含め総勢約1,200人体制でミッションを遂行している。

ICTインフラサービスの提供基盤を担うC&N部には、世界的・社会的な視点に立脚し、その動向を察知したうえでの取り組みが求められる。C&N部は現在、注目すべき社会の変化と今後起こりえる事項として以下の四点に注目している。

まず第一に、米中の対立やロシア

のウクライナ侵攻によるブロック化の加速。それによりサプライチェーンの見直しや情報の暗号化強化といったセキュリティの見直しが重要となる。第二に、日本国内におけるプライバシーや個人情報保護への意識の高まり。ヨーロッパ諸国の動きに準じて日本でもデータ主権に関するニーズが拡大するだろう。第三に、温暖化対策やESG投資の拡大。企業のカーボンニュートラルへの取り組みの急速化を見込んでサービスを整備する必要がある。そして第四に、アフターコロナ若しくはウィズコロナ。ハイブリッドワークへの対応も



NTTコミュニケーションズ株式会社  
プラットフォームサービス本部  
クラウド&ネットワークサービス部  
企画部門長 三由 純氏

喫急の課題となるだろう。C&N部はこれらを読み解き、サービス開発を推進していく。

## 10年前、オンプレミスから クラウド化への移行をトリガーに 自らの事業拡大に成功

NTT Comは今から10年前に社会動向をトリガーとして自社の事業を大きく拡大した実績を有する。ここでGCV（Global Cloud Vision）と称されるその方策を振り返ってみたい（図2）。

2013年当時、自社のビジネスをグローバル化しようとする企業を筆頭に、オンプレミスからクラウド

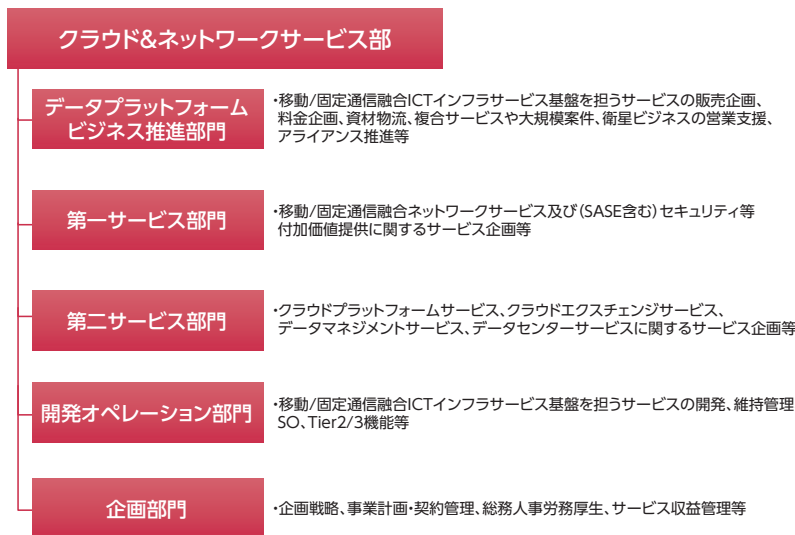


図1 C&N部の機能及びミッション

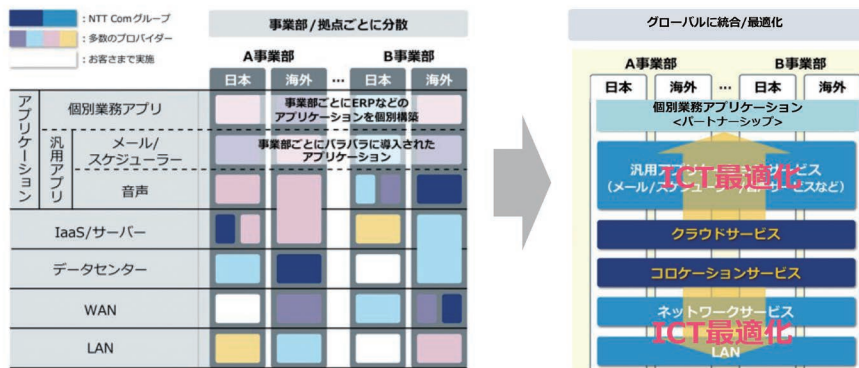


図2 クラウド化をトリガーにした事業拡大「GCV」

に移行するという潮流があった。NTT Comはこの潮流をトリガーに、NWやアプリケーション等をICTに最適化するサービス/ソリューションを拡充することでお客さまのDXに貢献すると同時に、NTT Com自らの事業拡大を実現した。

低コストで柔軟なICT環境を提供すべくクラウドにフォーカスし、お客さまと一体となってグローバルな成長を目指したGCVは、通信事業者であるNTT Comがクラウドを新たなビジネスの主軸として据えたという点、そして既存の通信ビジネスの枠に囚わられることなくICTプレイヤーとしてグローバルで戦う宣言をしたという点において、今なお高く評価されている。

### 10年を経た今、「ゼロトラストグリーンICT」を掲げさらなる事業拡大を目指す

現在、C&N部は企業のICT変革につながるトリガーとして「ゼロトラスト化」と「グリーン化」に着目し、新サービス中期戦略「ゼロトラストグリーンICT」を掲げている。

「ゼロトラストグリーンICT」は、二つの項目から成る。

一つ目の項目は、アンダーレイNWサービスとオーバーレイNWサービスの双方を提供するドコモグループの特長を活かし、ゼロトラスト化に資する新サービスを拡充すること（詳細はC&N部②章参照）。昨今の市場に目を向けると、オーバーレイ化を推進するOTT(Over The Top)事業者がゼロトラスト化

事業を席捲してくる可能性は否めない状況にある。するとNTT Comのような通信キャリアのNWは“土管化”するだけでなく収益減のリスクを負うことにもなりかねない。そうした課題に対し、三由氏は次のように語る。「5G、IoT、NWといった旧ドコモのサービスを提供できるようになった今こそ、再びNWを立脚点とし、戦略展開を図る好機だと思います。さらにソフトウェアデファインドの観点からサービスの活用の仕方を再考することもNTT Comの事業拡大につながると考えています。」これまでNTT Comが提供してきたNWサービスは、拠点間をつなぐものから、拠点からクラウドにシームレスにつながるものに変遷してきたが、今後はそれらをゼロトラストにシフトしアジリティを高めることで、さらなる事業拡大を目指す方針である。

そしてもう一つの項目は、企業のグリーン化を実現することだ（詳細はC&N部③章参照）。

NTT Comは今後、上記二つの項目をセットで提供することを構想しており、「ゼロトラストグリーンICT」でお客さま、ひいては社会に貢献することを目指していくとしている。

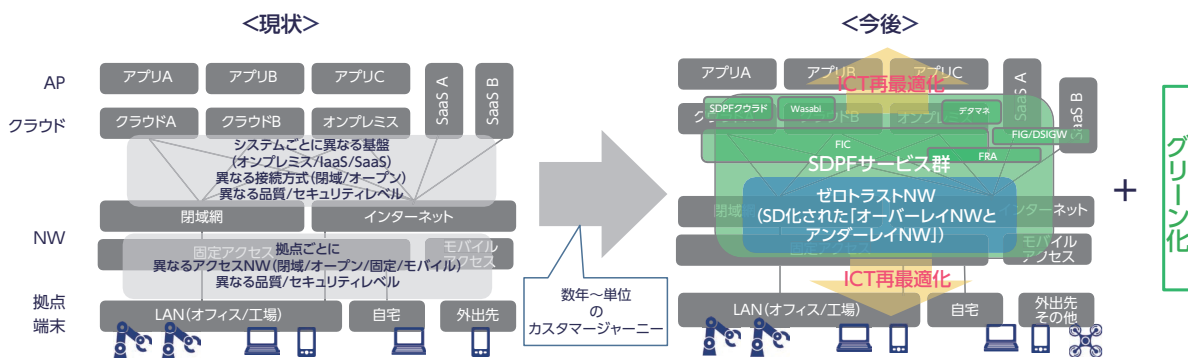


図3 新サービス中期戦略「ゼロトラストグリーンICT」